

令和6年度第2回富山市入札監視委員会 審議概要

日 時	令和6年8月7日（水）午後1時30分から
場 所	富山市役所議会棟8階第3委員会室
委 員 （委員数5名） 出 席 4名	委員長 古 田 俊 吉 （富山大学名誉教授） 委 員 大 石 貴 之 （弁護士） 委 員 佐 藤 綾 子 （富山国際大学教授） 委 員 廣 田 正 恵 （税理士）
次 第	1 開会 2 審議 ・ 富山市の入札・契約手続及び運用状況 ・ 抽出案件の審議 3 審議結果のまとめ 4 閉会
対 象 期 間	令和5年10月1日から令和6年3月31日まで
抽 出 案 件 （落札率）	18件（対象案件件数 478件） ① 富山公共下水道浜黒崎浄化センター仮設管理棟解体業務委託(100%) ② 流杉浄水場運転管理業務委託(99.53%) ③ 小型免震台購入（100%） ④ 富山市職業訓練センター非常灯更新業務委託（59.01%） ⑤ 富山市科学博物館情報システム賃貸借（設定作業）（100%） ⑥ 介護保険と高齢者福祉の手引き印刷（80.18%） ⑦ 宮繕課用両開き扉外2件購入（79.82%） ⑧ 富山市立宮野小学校・新保小学校給食調理等業務委託（80.00%） ⑨ 富山市西保健福祉センター検査室及びリハビリルーム床修繕業務委託（87.09%） ⑩ 割山森林公園天湖森通信環境整備業務委託（45.74%） ⑪ 準用河川後家川（1工区）浚渫業務委託（89.28%） ⑫ 令和6年能登半島地震における被災家屋等公費解体等関係業務委託（100%） ⑬ 春日温泉4号井源泉設備災害復旧業務委託（99.83%） ⑭ 呉羽山公園（五福地内）法面補修業務委託（99.84%） ⑮ 城山公園応急対応業務委託(100%) ⑯ 災害用備蓄物資（災害救助用毛布ほか7点）購入（89.59%） ⑰ 令和5年度森林病虫害等枯損木除去業務委託（99.24%） ⑱ 令和5年度下半期ブルーバール広場等社会実験業務委託（100%）
審 議 の 概 要	別紙のとおり
委 員 会 の 意 見	審査対象期間の物品購入等、業務委託及び賃貸借に係る入札、契約事務については、概ね適正に行われていたと判断する。

別 紙
審議の概要

令和５年度下半期分抽出案件の審議	
① 案件名 富山公共下水道浜黒崎浄化センター仮設管理棟解体業務委託 担当課 上下水道局 下水道課	
＜説明＞	
＜質疑＞ 所有権を有しているため随意契約をすることは理解できますが、実際に作業に入るのは下請けの業者であると思われます。価格が適正かどうか担当課で市場調査等を行ったのでしょうか。	
＜回答＞ 全ての物品が市場調査できるものではありませんでしたが、建築の単価等いくつかの項目について調べたところ、市場価格よりも低い価格での見積りとなっていたため、適正と判断しました。	
② 案件名 流杉浄水場運転管理業務委託 担当課 上下水道局 流杉浄水場	
＜説明＞	
＜質疑＞ 令和３年度から令和５年度までの契約額から、委託料の見直しとのことで７％ほど増額していますが、こういった見直しがあったのでしょうか。また、積算は適切でしょうか。	
＜回答＞ 労務単価を国の基準に合わせて増額しています。また、点検業務の強化のため、業務内容を一部見直しており、積算は適切と判断しています。	
＜質疑＞ 今回の受託業者以外に、他の業者が参入できる余地はあるのでしょうか。	
＜回答＞ 特命随意契約を行う前には入札を行っています。入札前に富山市に入札参加資格のある業者にアンケートをとり、従業員の有資格者数や他の浄水場での実績等を調査し、入札に参加できると判断した全８者を選定し入札を行いました。が、応札者が１者のみのため中止となりました。	
＜質疑＞ 実態として応札できる業者の数が少ないということでしょうか。	
＜回答＞ 人手不足の中、事務従事者に資格要件を設けていることから、従業員を十分に確保できるかどうかによって、応札が難しいと判断される場合があると考えられます。	
③ 案件名 小型免震台購入 担当課 企画管理部 ガラス美術館	
＜説明＞	
＜質疑＞ 価格の妥当性については、どのように考えていますか。	

<回答> 建物自体の免震構造に合わせて免震台を制作する必要があり、過去に納品された当該業者の免震台が今回の能登半島地震でもしっかり機能していたことを鑑みると、金額については妥当であると考えます。
<質疑> 作品の金額に関わらず、高額な免震台を使用するのでしょうか。
<回答> 作品の貸主は、安全面を一番に心配されますので、作品の金額によらず免震台を設置することは必要と考えます。
<質疑> 今後、計画的に購入されとのことですが、類似の免震台を納入できる業者を早めに調査するなどして入札にする等は考えていますか。
<回答> そういったことも考慮しながら、実績等、総合的に判断して調達していきたいと思います。
④ 案件名 富山市職業訓練センター非常灯更新業務委託 担当課 商工労働部 職業訓練センター
<説明>
<質疑> 落札率が59.01%と低いですが、考えられる理由を教えてください。
<回答> 参考見積を徴収した昨年度のタイミングは、半導体不足や物流の混乱など、世界情勢の動きに左右される時期でしたが、入札のタイミングではそういった状況が改善されていたのではないかと想定されます。
⑤ 案件名 富山市科学博物館情報システム賃貸借（設定作業） 担当課 教育委員会事務局 科学博物館総務課
<説明>
<質疑> 現在使用しているシステムと不可分の作業のため、他社が入る余地はないということでしょうか。
<回答> 一からシステムを構築するのであれば他社の参入の余地がありますが、今あるシステムをそのまま使用し更新する作業のため、他社で行わせた場合、著しい支障をきたす可能性があることから特命随意契約としたところです。
⑥ 案件名 介護保険と高齢者福祉の手引き印刷 担当課 福祉保健部 介護保険課
<説明>
<質疑> 指名業者全6者中2者が辞退、2者が棄権していますが、考えられる理由がありますか。

＜回答＞ 棄権については不明ですが、辞退については、予定価格が見合わない、スケジュールの都合がつかないということがありました。同時期に他の自治体から同様の案件があったのではないかと予想されます。
＜質疑＞ 市内業者ではなく、県外業者を選定している理由を教えてください。
＜回答＞ 手引きに記載する介護保険制度等の内容については、契約業者で把握した上で作成する必要があり、改正の内容等、制度に詳しい知識を有した業者を指名しています。
⑦ 案件名 営繕課用両開き扉外2件購入 担当課 建設部 営繕課 ＜説明＞
＜質疑＞ 応札に際して、メーカーの状況、納入する業者の状況はどう影響すると考えますか。
＜回答＞ 一般的な物品で、メーカーは問わないという条件でしたので、メーカーが在庫を抱えている、取り付け業者の確保ができるという条件に合致した業者が応札されたと考えられます。
⑧ 案件名 富山市立宮野小学校・新保小学校給食調理等業務委託 担当課 教育委員会事務局 学校保健課 ＜説明＞
＜質疑＞ 辞退された業者の辞退理由を教えてください。
＜回答＞ 本社では親子調理方式の実績がありましたが、北陸エリアでの実績がなく、自信がなかったとのことで最終的に辞退されたということを伺っております。
＜質疑＞ 指名業者の全6者のうち3者が県外の業者ですが、ノウハウや実績等を考慮されたということでしょうか。
＜回答＞ 今回の指名業者について、支店は富山にありますが、全て本社が県外にある業者となっています。ある程度の規模があり、全国で導入実績がないと、学校給食の厳しい衛生基準の中で大規模調理をこなしていくというのはなかなか難しいのではないかと思います。
＜質疑＞ 親子調理方式を導入するメリットを教えてください。
＜回答＞ 単独で導入するよりはコストが削減できます。また、親校となる学校の設備が整っている場合、初期コストがかからないため導入しやすいといったメリットがあります。
⑨ 案件名 富山市西保健福祉センター検査室及びリハビリルーム床修繕業務委託 担当課 福祉保健部 福祉政策課 ＜説明＞

<質疑> 指名業者全8者のうち、6者が辞退していますが、理由について分かる範囲で教えてください。
<回答> 予定価格が見合わず、多忙であることが理由となっていると伺っております。能登半島地震から、あまり月日が経っていない点も原因ではないかと推察します。
<質疑> 予定価格に関連して、比較的単純な作業内容ではないかと思われるのですが、業者によっては実際に施工できる金額に隔たりが出てくるような業務内容なのでしょうか。
<回答> 床材が波打っていたり、亀裂が走っていたりする状態だったのですが、床材の下がどういう状態かが分からないという部分で、業者がどのように見積もるかに違いが出た可能性はあるかもしれません。
⑩ 案件名 割山森林公園天湖森通信環境整備業務委託 担当課 農林水産部 農林事務所農地林務課
<説明>
<質疑> 落札率が45.74%と低いですが、考えられる理由を教えてください。また、性能については問題ありませんか。
<回答> 参考見積を依頼した業者が現地調査をしたところ、Wi-Fiの電波が公園内の池を超えることができないため、配線を敷設する前提で見積りされたのですが、落札された業者が現地確認をしたところ、配線がなくとも問題なく機能することを確認したため、今回の金額で落札できたと伺っております。性能的には全く問題ありません。
⑪ 案件名 準用河川後家川（1工区）浚渫業務委託 担当課 建設部 土木事務所建設課
<説明>
<質疑> 指名業者全11者のうち、8者が辞退していますが、理由について教えてください。
<回答> ほとんどの業者が、技術者及び作業者の確保が困難であるとのことでした。令和5年7月の豪雨災害は県下全域に被害を及ぼし、業者がその対応に当たっていたことが考えられます。
<質疑> 落札者は他の業者と比べて100万円ほど低い金額で応札していますが、企業努力の範囲内でしょうか。
<回答> 落札率としては約90%ということで、企業努力の範囲内と考えます。
⑫ 案件名 令和6年能登半島地震における被災家屋等公費解体等関係業務委託 担当課 環境部 廃棄物対策課
<説明>

＜質疑＞

今回の案件のように、対応地域の範囲が広いような場合は、価格の積算や業務全般について競争を行うというよりは、協会等の団体に任せて事務を行うのが妥当なのでしょうか。

＜回答＞

今回の随意契約の相手方は災害のために立ち上げられた協会で、全国で公費解体業務の実績があるほか、業務に係る仕様を把握し、ノウハウを有していることから、どの自治体においてもまずはこちらの協会とやり取りをすることになります。価格についても国交省の設計単価に基づいて積算していることから妥当と考えます。

⑬ 案件名 春日温泉 4 号井源泉設備災害復旧業務委託

担当課 商工労働部 観光政策課

＜説明＞

＜質疑＞

緊急性からして他者ではできないとの理由から随意契約としていますが、価格は適正でしょうか。

＜回答＞

業界の平均的な価格であり、際立って高いということはありません。

＜質疑＞

1 月 1 日の地震から見積合わせまで 1 か月以上経過している理由を教えてください。

＜回答＞

施設から、お湯の供給量が徐々に減ってきているとの報告を受け、調査し、配管が壊れている可能性があるとのことから、判明した時点で早急に対応したところです。

⑭ 案件名 呉羽山公園（五福地内）法面補修業務委託

担当課 建設部 公園緑地課

＜説明＞

＜質疑＞

指名業者全 8 者のうち、6 者が辞退していますが、理由について教えてください。

＜回答＞

地理的に事業所が近い業者を選定しましたが、山の工事に慣れている業者とそうでない業者が含まれていたほか、災害復旧のため早期に対応しなければならないことは、ノウハウのない業者にとって難易度が高いことから辞退されたものと推察します。

＜質疑＞

履行期間は適正でしょうか。

＜回答＞

通常の業務であれば、工期に少し余裕を持つことが多いので、それに比べると少し短めになっているとは思いますが。ただ、工事の内容を考えると適切な工期だったと判断します。

⑮ 案件名 城山公園応急対応業務委託

担当課 建設部 公園緑地課

＜説明＞

＜質疑＞

今回随意契約した相手方しか履行ができなかったということでしょうか。

＜回答＞ 二次被害防止の観点から早急に対応する必要があった中、いくつかの業者に声をかけたところ対応が可能であったこと、呉羽山の豪雨災害の際にも迅速に対応した実績があったことから随意契約したものです。
＜質疑＞ 建設業協会から対応可能な業者を紹介してもらうということはないのでしょうか。
＜回答＞ 難易度の高い工事や業務委託の内容によっては紹介してもらうこともあります。今回の案件は難易度が低いこと、緊急性があることから市で選定した業者と随意契約をしています。
⑩ 案件名 災害用備蓄物資（災害救助用毛布ほか7点）購入 担当課 防災危機管理部 防災危機管理課
＜説明＞
＜質疑＞ 総合計画において備蓄目標を定めており、未達成とありますが、今回の購入で達成できたのでしょうか。
＜回答＞ 令和13年度までかかる予定となっており、令和8年度において68%達成の予定です。
＜質疑＞ 公募で手を挙げているにも関わらず辞退した業者がいますが、理由を教えてください。
＜回答＞ 公募の段階では仕様書の一部を公開していますが、予定価格を公表していないので、価格が見合わなかったという可能性はあります。
⑪ 案件名 令和5年度森林病虫害等枯損木除去業務委託 担当課 農林水産部 森林政策課
＜説明＞
＜質疑＞ 枯損木ということは、最初から木の状態が分かるわけではないので、任意の範囲を調べてから業務を行っているということでしょうか。該当の木がなければ予算は使わないということでしょうか。
＜回答＞ 地元住民や森林組合が普段から木の状態を見て、意見があった地域を中心に今年度の事業範囲を決定し、予算要求して事業を行っています。
⑫ 案件名 令和5年度下半期ブルーバール広場等社会実験業務委託 担当課 活力都市創造部 まちづくり推進課
＜説明＞
＜質疑＞ トヤマチ∞ミライユナイテッドと市の関係性を教えてください。
＜回答＞ 官民連携のまちづくりビジョンを作るために設立された、「南北一体的プラットフォーム」という任意団体が前身であり、富山市と富山駅沿線企業、周辺企業で立ち上げた組織です。

<質疑>

継続して委託をするということは、過去の実績を評価してのことだと思いますが、どのような点を評価して随意契約しているのでしょうか。

<回答>

まちづくりのビジョンを市と一緒に作ってきた団体であり信頼があること、そのビジョンを実現するための活動も一緒にやっていく団体であることから随意契約をしています。

<質疑>

イベントを行うだけであれば、他の業者も参入できると思われそうですがいかがでしょうか。

<回答>

関連性のない会社が参入する単なるイベントというよりも、当該エリアでのイベント等を通して、沿線企業が自ら賑わいを創出することを目的としており、最終的にはトヤマチ∞ミライユナイテッドが自立して、富山駅周辺の賑わい創出を図り、市が関わらなくとも自走していくために、最初の助走となるイベントを市が委託して行っているところです。